

第37回新大大会Day1 兼 新潟県協会杯

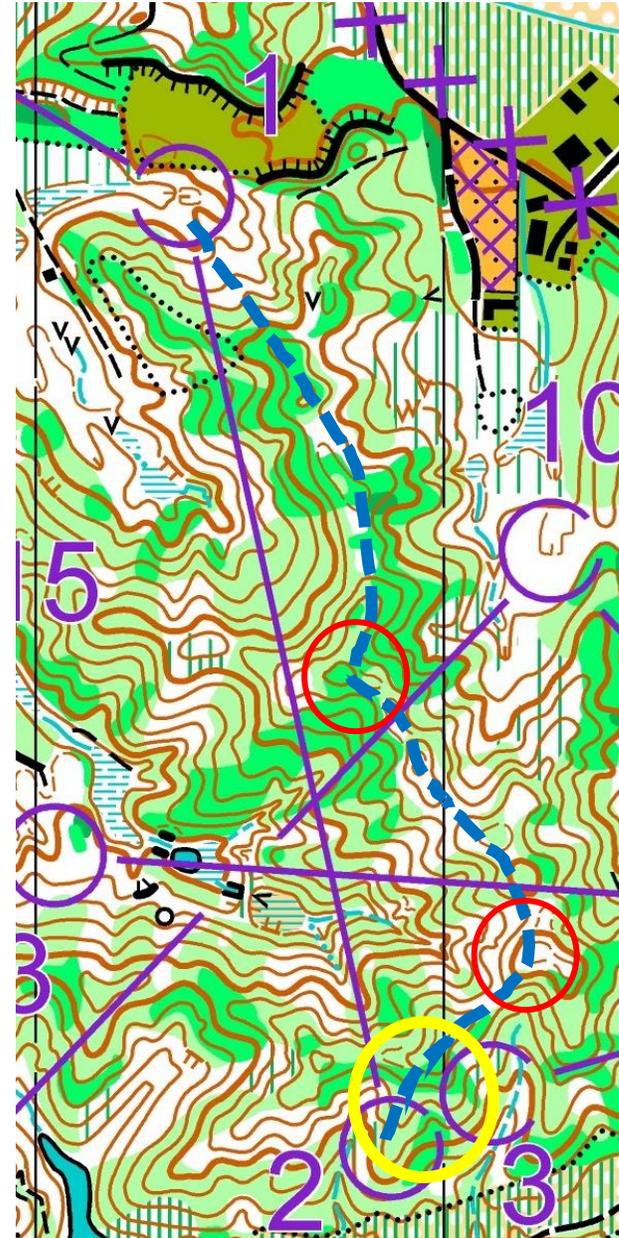
コース解説

M21A 1 → 2

序盤の長めレッグ。

ポイントは、2回の尾根の分岐
(赤丸) での方向維持と最後
のアタックで尾根上から下る
タイミング (黄丸)。

2ポの尾根はピーク上からは見
えず、**1つ東の尾根に流される
可能性があるため注意が必要。**



M21A 5 → 6

1 → 2 での急峻な尾根辿り後の
対照的な緩い尾根辿り。

1 → 2 と同じ感覚で走ってしま
うと地形が見えないことに
不安を感じ、スピードが落ち
てしまう可能性が高い。方向
を確認しながら自信をもって
走りたいところ。

1 → 2 と同じなのは藪いこと
だけ。

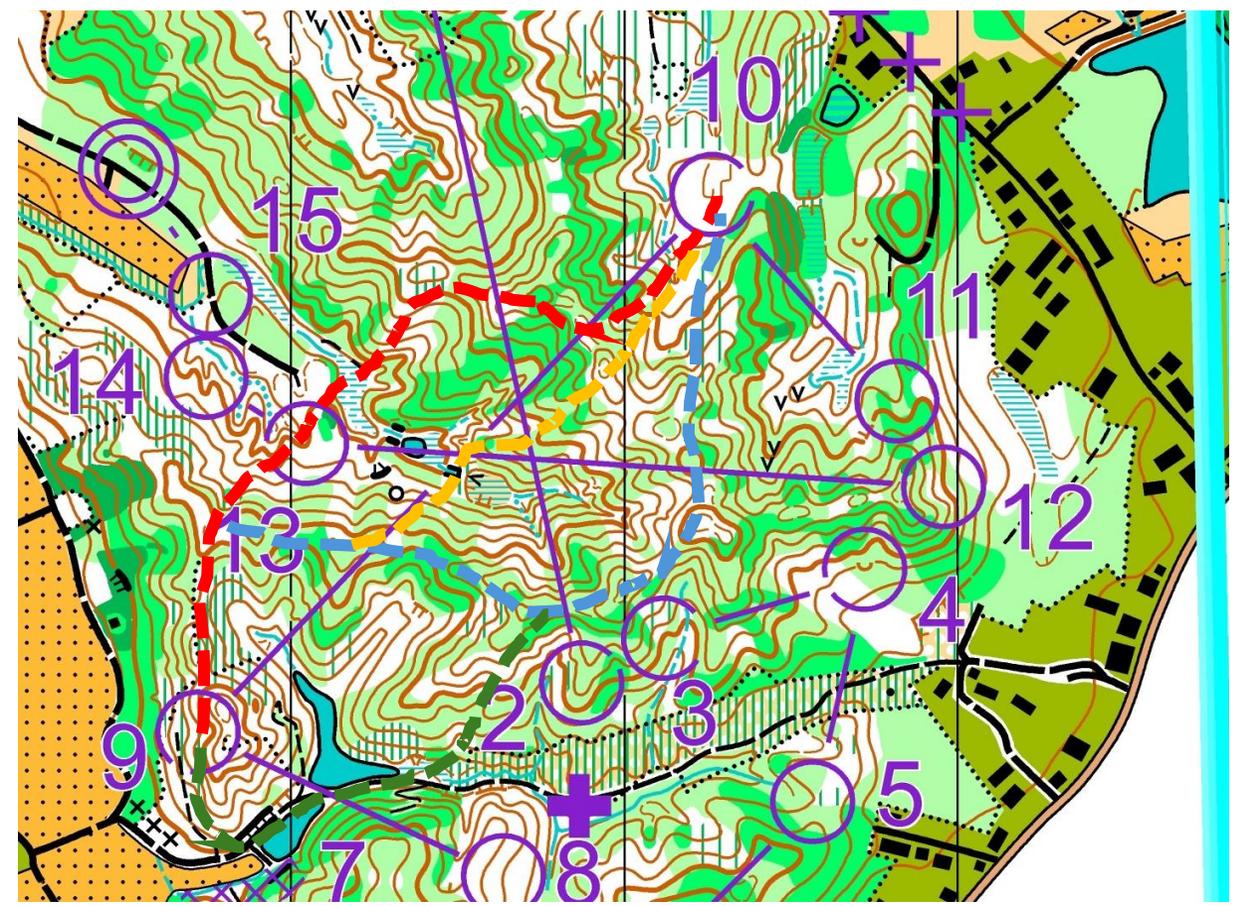


M21A 9→10

- 680m ↑ 65m
- 660m ↑ 60m
- 830m ↑ 60m
- 810m ↑ 65m

1つ目の勝負レグ。自分の得意に合ったルートチョイスをできるかがカギ。登りに自信があるなら赤・黄、ナビゲーションに自信があるなら青、体力に自信があるなら緑。また、右図には示していないが、緑ルートより奥の4ポ南辺りまで道を引っ張るルートもありか。

なお、想定は黄→青→赤→緑の順。



M21A 12→13

コース終盤、2つ目の勝負レッグ。

想定は赤→黄→青→緑の順。

ただし、赤・黄・青の3ルートは9→10の赤・黄・青ルートとそれぞれ対応しており、9→10で使ったルートをもう一度通るのがその人にとっての最速となるだろう。そうした意味で、9→10レッグのルートチョイスは2レッグ分の価値を含んでいる。

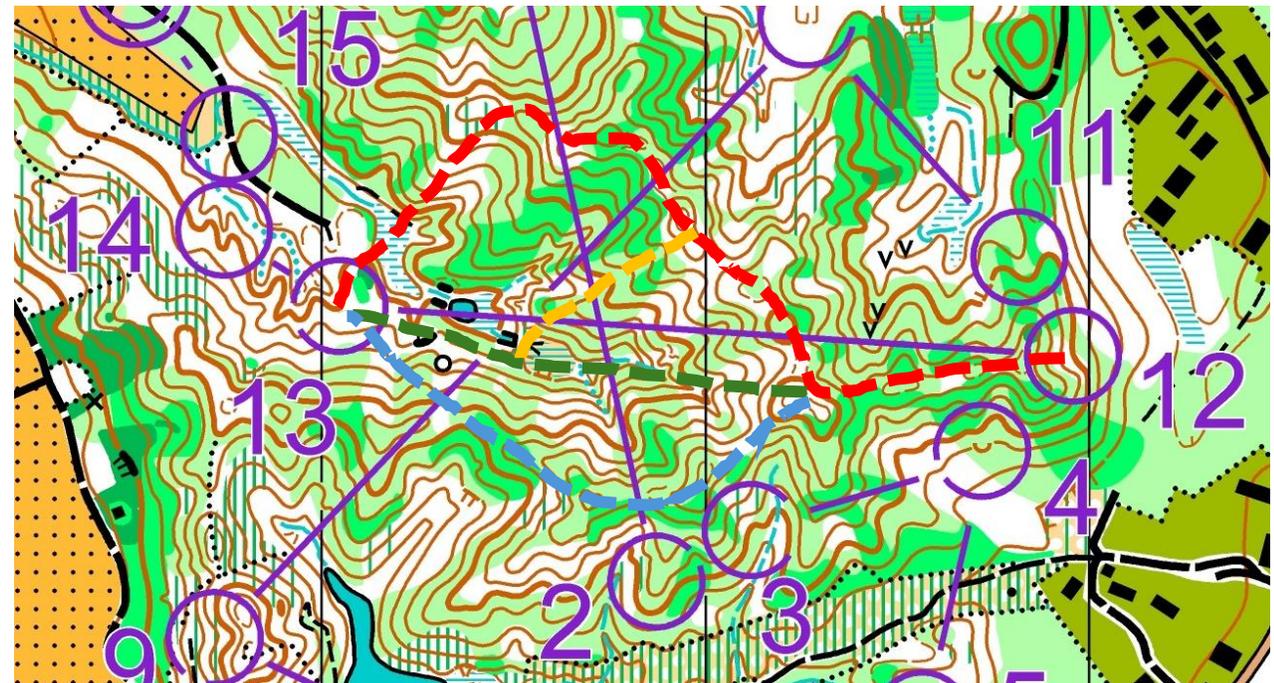
なお、ほぼレッグ線上に進む緑はアップ、登距離ともに最短だが、下りが急峻な沢であること、湿地を通過することなどから大幅なスピード低下が予想される。

630m ↑ 50m

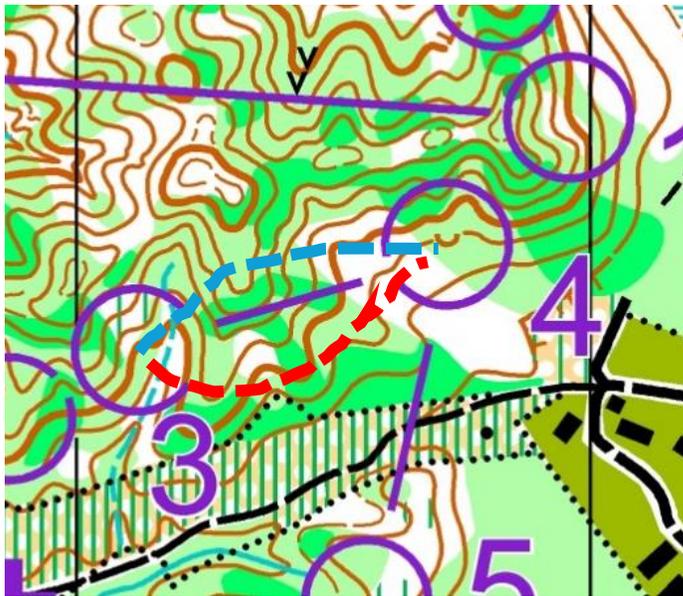
560m ↑ 35m

480m ↑ 30m

530m ↑ 35m



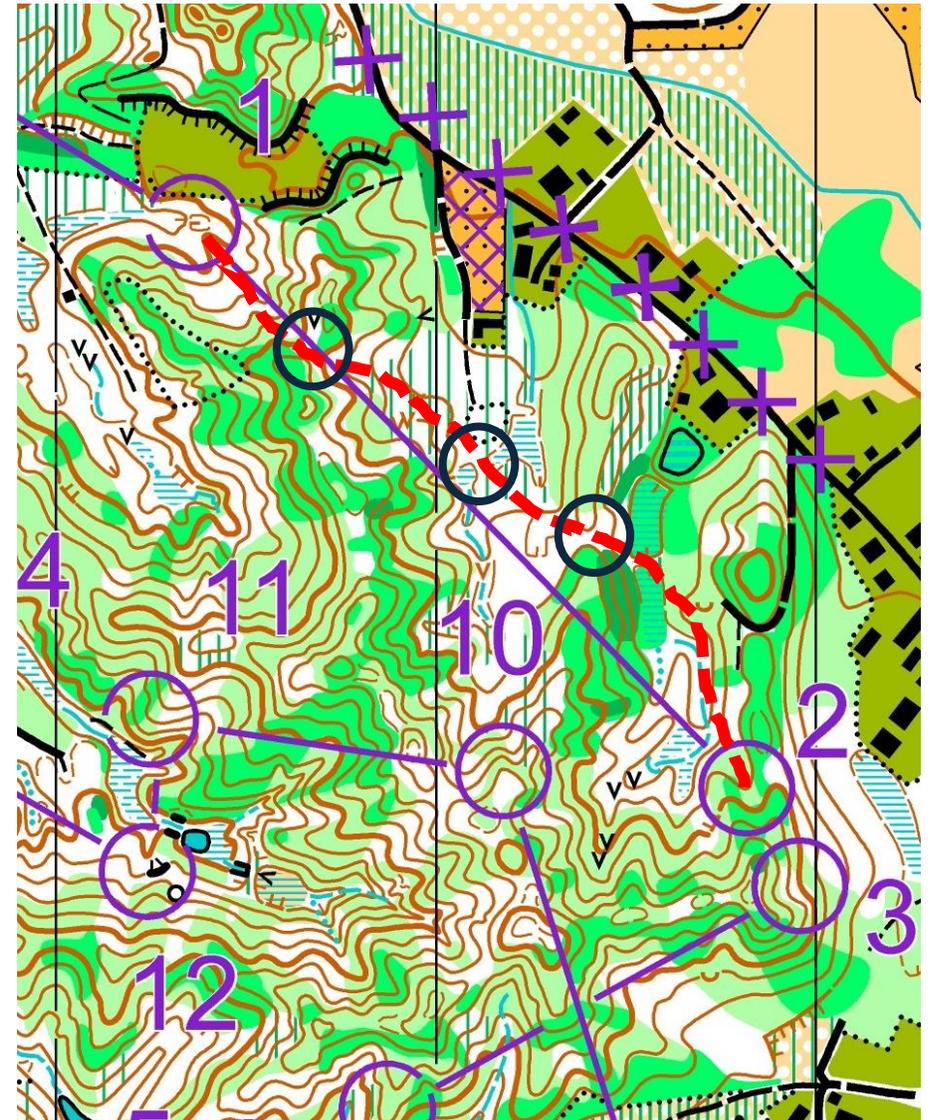
M21A その他



W21A/M30A 1→2

比較的走行可能度の高いエリアが連続する序盤の勝負レッグ。鞍部→湿地の間→鞍部→湿地の間と、特徴的な地形をチェックポイントにしなからスピードを落とさずに走り切りたい。

尾根辿りはナビゲーション負荷が高く、尾根上の走行可能度も低いためおすすめできない



W21A/M30A 3→4

難易度高めのルートチョイスレック。

青ルートであれば、最初の登りを耐えることと、M21Aの1→2同様に尾根からそれる際の手続きに注意が必要。赤ルートであれば細かい尾根を複数超えるため、尾根を越える際の方向維持や最後のC藪の処理が難しい。

最速想定ルートは青。

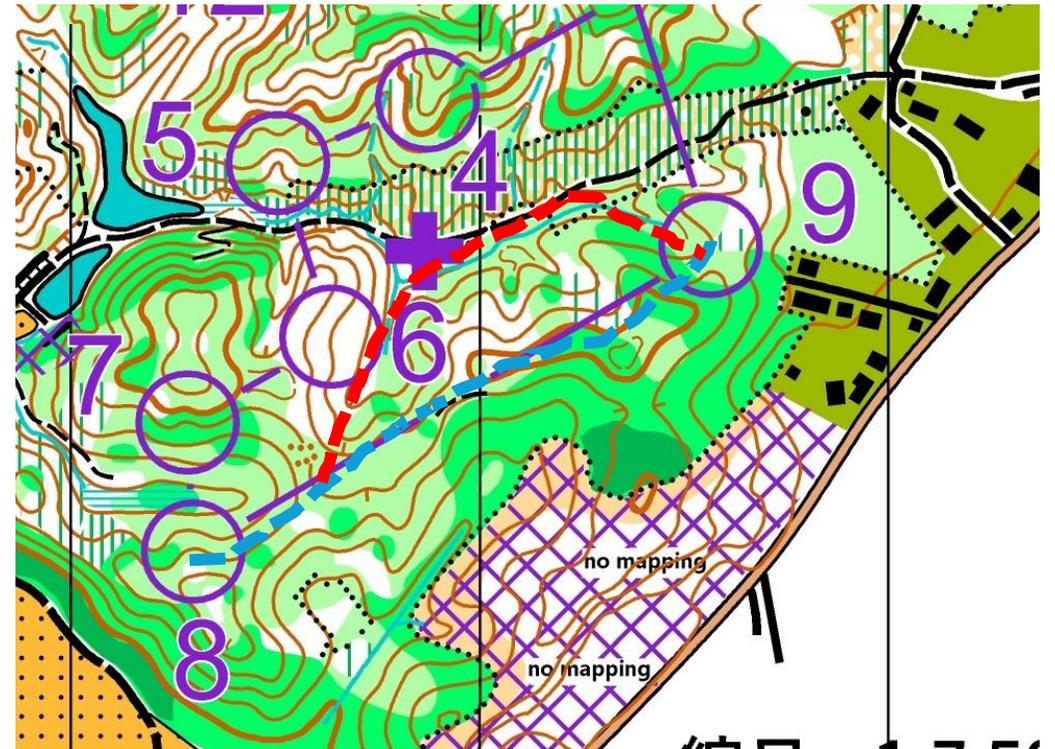
350m ↑ 25m
340m ↑ 30m



W21A/M30A 3→4

基本はレック線上にまっすぐ進めばよいが、左に複数の沢が連続しているため注意。

6ポ付近はきれいなA藪であり、道から9ポまでの登りも緩いため、一旦道まで下る赤ルートも○。



おわりに

トレインの特性上、当初はできるだけ藪の薄いエリアを使ってアップ率を押さえた”つなぐ”コースを予定していましたが、冬以降の植生の改善を受け（それでも藪いですが…）、急峻な尾根・沢、硬くて優しい藪という本トレインの特徴を最大限生かしたコースを目指しました。新潟でのフォレストを楽しんでいただけていたら幸いです。天候不良の中、今日の大会にご参加いただいた皆さん、誠にありがとうございました。Day2もぜひお楽しみください。